

2023年度、2024年度の活動報告

NEWS LETTER
vol.1・2はこちら



2023/ 12/1	令和5年度教育支援員配置
12/14	ダイバーシティ(女性リーダー育成型)事業説明会-女性研究者交流会-開催
2024/ 2/16	キックオフシンポジウム開催(第1回シンポジウム)
3/4	女性研究者のためのリーダー育成研修「アサーティブコミュニケーション」開催
3/8	女性研究者のためのリーダー育成研修「ハラスメント対策」開催
3/11	女性研究者のためのリーダー育成研修「リーダーシップ」開催
3/15	女性研究者のためのリーダー育成研修「異文化理解」開催
4/1	令和6年度教育支援員配置
4/1	カウンセラー配置(キャリア・カウンセリング開始)
4/22	令和6年度女性研究リーダー研修 採択者決定
5/29	サイエンス・コモンズ「オープニング内覧会」開催
6/1	2024年度 KAKEN塾【若手研究・基盤研究(C)以上対象】開催 計5回(6/1、6/15、6/29、7/13、7/27)
6/8	2024年度 KAKEN塾【基盤研究(B)以上対象】開催 計3回(6/8、7/6、8/3)
6/19	第1回サイエンス・コモンズ セミナー開催
6/24	令和6年度架橋横断的重点共同研究・グローバル共同研究支援 採択者決定
6/21	令和6年度ラビークラブ見学会開催
6/28	第1回MUKOJO研究ポットラック開催
7/5	第1回ランチタイムミーティング開催
7/12	令和6年度武庫川女子大学大学院フェロシップ制度 採択者決定
7/24	第2回サイエンス・コモンズ セミナー開催
7/25	第2回MUKOJO研究ポットラック開催
8/2	令和6年度架橋横断的重点共同研究・グローバル共同研究支援(追加募集)採択者決定
8/21	第3回MUKOJO研究ポットラック開催
9/9	大学院生交流会~大学院のリアル・研究の楽しさを発見しよう!~開催
9/21	ゴンザガ大学による女性リーダーシップ研修開催 完全オンライン 計7回(9/21、10/5、10/19、11/9、11/16、12/7、12/14)
9/21	2024年度 研究倫理塾 計3回(9/21、10/5、10/19)開催
9/25	第3回サイエンス・コモンズ セミナー開催
10/17	令和7年度女性研究リーダー研修 採択者決定
10/19	女性研究リーダー育成のための英語スキルアップ研修プログラム開催 計5回(10/19、11/2、11/30、12/7、12/14)
10/23	プレコンセプトケア セミナー開催
10/29	第4回MUKOJO研究ポットラック開催
10/30	第4回サイエンス・コモンズ セミナー開催
11/27	第5回サイエンス・コモンズ セミナー開催
12/18	女性研究者交流会開催
12/19	第5回MUKOJO研究ポットラック開催
2025/ 1/27	第6回MUKOJOポットラック開催
1/29	第6回サイエンス・コモンズ セミナー開催
2/21	第2回シンポジウム開催
2/26	第7回サイエンス・コモンズ セミナー開催予定
3/1	第2回大学院生交流会開催予定

主催・問合せ

武庫川女子大学
女性研究リーダー育成推進センター
〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46
E-mail cewl@mukogawa-u.ac.jp
TEL 0798-45-3506

武庫川女子大学
女性研究リーダー育成推進センター
https://www.mukogawa-u.ac.jp/~cewl/



武庫川女子大学
サイエンス・コモンズ
https://scommons.mukogawa-u.ac.jp/



令和5年度 文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型)

武庫川女子大学 女子総合大学における挑戦的 次世代女性リーダー育成プログラム 第2回シンポジウム

テーマ **女性研究者の
研究力強化とリーダー育成**

本学では、分野横断型の共同研究や
国際共同研究を推進し、女性研究者の研究力強化と
リーダー育成に取り組んでいます。
本シンポジウムでは、優れた共同研究の事例を通じて、
次世代リーダー育成に関する知見を提供します。

2025 **2.21** 金
13:30▶15:30

場所 **武庫川女子大学 中央キャンパス
日下記念マルチメディア館
メディアホール**

対象者 **本学関係者・一般**

スケジュール

司会 **田中 真由美**(女性研究リーダー育成推進センター ワーキングリーダー)

13:30 **開会挨拶**
学長/女性研究リーダー育成推進センター長 **瀬口 和義**

13:35 **基調講演**
座長 **長谷川 裕紀**(女性研究リーダー育成推進センター ワーキングサブリーダー)

世界初!超簡単な脳波計測による感情のリアルタイム計測装置の開発と近未来テクノロジー
慶應義塾大学理工学部教授/医学部精神神経科学教室兼任教授 **満倉 靖恵氏**

14:35 **令和6年度 活動報告**
女性研究リーダー育成推進センター副センター長 **高橋 享子**

14:45 **令和6年度 武庫川女子大学 架橋横断的重点共同研究・グローバル共同研究 報告**
難治性乳がん悪性化の機序解明と新治療戦略の創出
薬学部健康生命薬科学科 教授 **中瀬 朋夏**

外国にルーツを持つ児童・生徒の学習意欲に関する社会福祉学的研究
心理・社会福祉学部社会福祉学科 講師 **野上 恵美**

多分野介入による認知症予防教室における音楽活動の有効性
音楽学部応用音楽学科 教授 **一ノ瀬 智子**

15:25 **閉会挨拶** 副学長/副センター長 **高橋 享子**

シンポジウムについての
感想・ご意見をお聞かせください。
https://qr.paps.jp/alc7a



世界初！超簡単な脳波計測による感情のリアルタイム計測装置の開発と近未来テクノロジー

慶應義塾大学理工学部教授／医学部精神神経科学教室兼担教授

満倉 靖恵 氏

経歴

学位：博士（工学）博士（医学）
現職：慶應義塾大学理工学部教授／医学部精神神経科学教室兼担教授
株式会社イーライフ取締役CTO、8illion 株式会社取締役CTO、電通サイエンス
ジャム取締役CTO、FeMup株式会社代表取締役社長、IKI Inc., 米国代表取締役
社長／IKI JAPAN代表取締役社長／TBS 7days newsコメンテータ など
生体信号解析、リアルタイムノイズ除去、脳神経科学、精神疾患の研究に従事
IEEE、日本高次脳機能障害学会、日本神経心理学学会、電気学会などの正会員
著書：「フキハラの正体 なぜ、あの人の不機嫌に振り回されるのか？」（ディスカ
ヴァー・トゥエンティワン）など

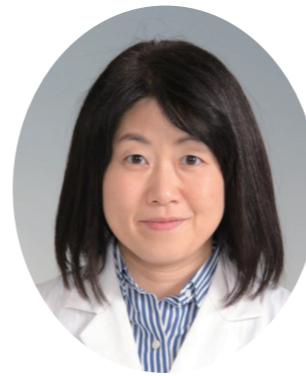
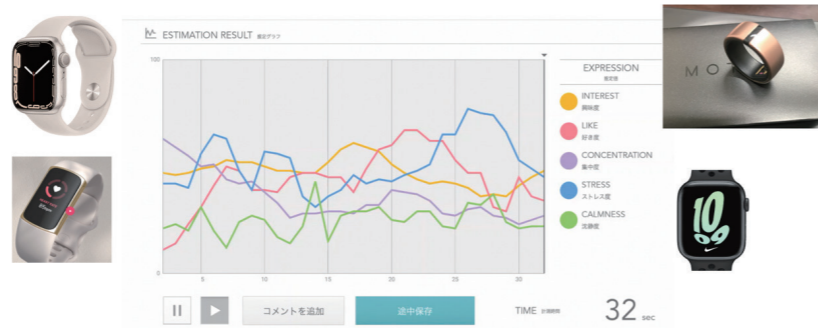
要旨

本講演では、私が取り組む多岐にわたる研究を通じて、女性研究リーダーとしての可能性と挑戦について共有します。

開発した“感性アナライザ”は、リアルタイムで感情を可視化する世界初の装置であり、完成までに17年もの歳月を要し2013年に完成しました。これと同時にスタートアップを立ち上げ、感性の科学的理解に革新をもたらしました。現在ではカリフォルニアにも拠点を持つスタートアップを始め、9つのスタートアップを立ち上げました。私の特許技術は、心理学や行動科学、さらには産業分野へと発展を遂げています。また、人を対象とした研究においては、脳波やホルモンなどの生理データを多角的に解析し、生活の質を向上させるための新たな知見を提供しています。これらの研究は、異分野の知識を統合し、実社会に役立つ技術革新を目指す私の信念に基づいています。

本講演では、これらの研究成果を紹介するとともに、研究者としてのキャリア形成やリーダーシップの重要性について議論し、次世代の女性研究者の活躍を後押しするきっかけを提供できればと考えています。

脳波と脈波の関連性を取得→脈波だけで感情を認識



薬学部健康生命薬科学科
教授 中瀬 朋夏

〈グローバル共同研究〉 難治性乳がん悪性化の機序解明と新治療戦略の創出

要旨

現在、日本において、20～39歳（AYA世代後期）のがん患者の約80%は女性であり、そのがん種は乳がんが最も多いです。乳がんに対しては、多くの治療薬の誕生により、がんの中でも、抗がん治療をリードしています。しかし、乳がんは、忘れた頃に、転移や再発を引き起こし、効いていた抗がん剤が、突如、効かなくなることがあり、まだまだ治療が難しい病気です。乳がんのさらなる治療成績の向上と根治のため、未だ大部分が不明な乳がんの悪性化機構の解明とそれに基づく新治療戦略の創出は強く求められています。我々は、乳がん細胞を用いて、悪性化プロセスを再現するモデルを開発し、別の治療に用いられている医薬品や身近にある栄養素が乳がんの治療に役立つことを明らかにしてきました。これまでにない新視点から乳がんの謎に迫り、分かってきた乳がん治療のヒントについて報告します。



心理・社会福祉学部
社会福祉学科
講師 野上 恵美

〈架橋横断的重点共同研究〉 外国にルーツを持つ児童・生徒の学習意欲に関する 社会福祉学的研究

要旨

私たちは、日本で生活する外国にルーツを持つ児童・生徒の学習意欲を高める要因について、社会福祉学的視点に基づき研究を行っています。今回の報告では、学校環境、言語環境、支援環境という三つの環境における事例を踏まえ、複雑な環境の中で学習に取り組むことを求められる外国にルーツを持つ児童・生徒は、直接的な支援が求められると同時に、児童・生徒に関わる大人（保護者、教師、支援者）への間接的な支援も重要になってくることを示します。そのうえで、「学校現場で求められる支援」と「家庭内で求められる支援」について具体的な実践方法を提示します。さらに、学校でも家庭でもないNPOが「第三の居場所」として学校と家庭の結節点となり得るかどうかについて検討します。



音楽学部応用音楽学科
教授 一ノ瀬 智子

〈架橋横断的重点共同研究〉 多分野介入による認知症予防教室における 音楽活動の有効性

要旨

武庫川女子大学健康科学総合研究所（旧栄養科学研究所）における認知症予防教室は、認知機能の改善と有用な予防法の開発を目的として2021年より実施されています。

当教室では、健康・スポーツ学、心理学、食物栄養学、看護学、音楽の5つの専門分野が連携して包括的なアプローチを通じた認知症予防の実践と研究を行っており、運動と栄養の分野では運動能力の向上や身体組成の改善、回想法や音楽を活用した介入では精神的賦活に寄与する有効性が明らかになっています。

本発表では取り組みの一環として行われている音楽活動に焦点を当て、歌唱、楽器演奏を中心としたプログラムによる具体的な介入方法と現時点で得られている成果、ならびに評価における課題について報告します。